



水分を多く含む生ごみ、剪定枝や草の減量にご協力ください

■生ごみの70～80%が水分です

生ごみの水切りを徹底することで、悪臭を防止できるほか、ごみの容量が減り軽くなることでごみ出しも楽になり、サイズを小さくできます。また、使用する市指定ごみ袋の枚数も減らすことができます。

生ごみを減らす3つのステップ

生ごみにしない ～買物、献立を工夫しましょう～

- 買物前に冷蔵庫の中を確認し、余分な買物は控えましょう
- 食べ残しが出ないように、食べきれる量を考えてから調理しましょう

ぬらさない ～無駄にぬらしていませんか？～

- 野菜のへたや皮などは、洗う前に切り落としましょう
- 最初からぬらさないことで、水切りの手間が激減します

水切りをする ～捨てる直前のひとしぼり～

- ゴム手袋や市販の水切りグッズなどを使用して、水切りをしましょう
- 三角コーナーなどに一晚置くだけでも、効果的に水分が抜けます



■剪定枝や草は乾燥させてから出しましょう

夏場に多く出される剪定枝や草は、乾燥させるだけで重さと体積を約50%まで減らすことができます。水分を含んだままでは燃えにくく、焼却時に多くのエネルギーを消費するため、焼却炉(碓氷川クリーンセンター)への負担も大きくなってしまいます。

剪定枝や草の乾燥・減量のコツ

水分を乾燥させる、天日干しを行いましょう。土をしっかりと落とし平らに広げ日光を当てれば、カラカラに乾燥できます。

天日干しできない場合は、袋をしぼらずに開けておくだけでも水分が抜けて軽くなります。



乾燥前の草



乾燥後の草



袋を開けて乾燥させている様子

剪定枝のごみステーションへの出し方

長さ50cm、太さ5cm以下のものは市指定ごみ袋に入れるか、袋に入る程度の量でしぼり、市指定ごみ袋を貼り付ければごみステーションで回収します(一度に大袋5袋まで)。それ以上のものは粗大ごみになるので、碓氷川クリーンセンターに直接持ち込んでください。

※処理料金：50kgまで無料。50kgを超えた分は10kgにつき165円(税込み)



市指定ごみ袋の貼り付け方

問 環境政策課廃棄物対策係 (☎内線1881)